



5万分の1 地質図幅の新刊

# 津幡

## TSUBATA

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

著者 角 靖夫 (地質部)  
発行 工業技術院地質調査所  
取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

・能登半島基部の石川県側の海岸に沿った地域である。海岸には 過去数千年の間に形成された砂丘が 幅1~2km 高さ60mにも達して連なり 他で見られない景観を作っている。砂丘を走るハイウェイも 南の金沢図幅(既刊)から北の邑知瀧図幅(既刊)の羽

昨市まで 開拓されたブドウ園 地下水の散水で育つ大根畑 保全林のニセアカシアの香りなど独得なルートである。

・山側には 新第三紀層(5累層からなる)と第四紀更新世前期の卯辰山層からできた丘陵地と それ以後の段丘や低地が見られる。卯辰山層は非海成的な砂層や粘土層で 最上位を占める地層であるが ここでは地質図幅に描かれたように 非常に複雑な断層によって構造が乱されている。卯辰山層の下には 鮮新世の海生貝化石を多く含むことで有名な大桑砂岩層があり 卯辰山層とともに海底域にも広がると推定される。

・津幡図幅の地質の特色は 金沢市付近より粗粒な岩相を交えた大桑砂岩層とそれより下位の鮮新世・中新世の4累層との間に いちじるしい局地的な傾斜不整合が観察されること

である。大桑砂岩層は南寄りの部分では直下位の音川累層の上に重なっているが 北へ向って順次 さらに下位の累層に接し 北寄りの所ではこの地方の基盤岩の船津花崗岩類(中生代の深成岩)をおおっている。この不整合の状況は報告書の中で地史的に考察されているほか 地質図幅の5本の地質断面図に具体的に示されている。なお 地形と地質の関連や 各地層の応用地質上の性質についても書き添えられている。

地質ニュース	第290号	10月号
	定価 ¥450	〒50
昭和53年 10月1日	編集	発行
	集	工業技術院 地質調査所
	発行人	林 久 雄
	発行所	株式会社 実業公報社
		東京都千代田区九段南4の2の12
		Tel. (03) 265-0951 (代表)
		振替口座 東京 32466
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	